



BESSだより

Bangladesh Education Support Society

5号

2012. 3. 30

発行： バングラデシュ

教育支援の会 事務局

H24年2月に会員2名がバングラデシュのBSDPスクールに行きました。



BSDPスクールの6人の先生と届けた中古文具



子どもたちにパンとゆで卵をプレゼントしました。



BSDPスクールの朝の集会

ご挨拶

代表 森崎 芳子

いつもBESSをご支援いただき誠にありがとうございます。

私たちの活動はいつもバングラデシュの多方面でアドバイザーをしていらっしゃるモアゼムフセイン様と奥様の営子様の中に入ってください多々なご指導やご協力をいただきながら進めることができ感謝致しております。この度フセイン様のお言葉をいただくことができました。

私たちの活動もうすぐ丸3年を迎え、現地では2棟目の校舎建築の計画が進められています。皆様、どうぞ今後ともご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

「 バングラデシュの教育事情と B E S S の活動 」

DR. MOAZZEM HUSSAIN

(AOTS JAPAN 及び BAAS のアドバイザー)

このたび、BESS ニュースレターのためにメッセージを書くことができ大変うれしく思っています。

BESS はチャンパラにある大変貧しいスラム街にある小学校をサポートされています。この小学校はバングラデシュのローカルNGOであるBSDPのビンドウ氏によって設立されたものです。



Dr. フセインご夫妻

バングラデシュ 国会議事堂の前で

バングラデシュは小さな国で国土は北海道の 1.7 倍、でも人口は 1 億 5 千万人と多いです。国土の多くは平坦で村の数は現在 68,000 もあり人口の 7 割が村に住んでいます。国内総生産 (GDP) は毎年 6 % ずつ伸びていますが、村に住む多くの人々は、1 日 1 ドル以下の貧しい生活をしています。貧しいということは識字率が上がらない大きな理由です。経済的理由で学校に行けない貧しい子供たちが多くいるのです。

バングラデシュで義務教育と言われている小学校 (5 年生まで) は現在 82,000 校あります。政府はそのうちの 2/3 を管理しています。残りは個人及び私立、または NGO の経営ですので、その中には先生の給料が払えない、校舎や机、椅子も充分でない、子供は貧しいので学用品が買えず学校に行けないなど大変多くの問題があります。そのような背景の中で BESS はかなり貢献されています。

今現在 BSDP 小学校の先生の給料は BESS から支払われています。がその給料の額は政府の先生の給料の 1/5 程度です。でも安定した収入を得ることができて先生方はがんばっています。今までの校舎はひどく粗末なものでした。でも BESSのおかげで、校舎は改築されています。チャンパラ スラム地域の子供たちは今、笑顔で学校に通っています。

生徒の母や姉の何人かは校内にあるハンドクラフトセンターで働くチャンスももらっています。(このセンターはバングラデシュ AOTS 同窓会 {BAAS} の援助でできたものです。)

バングラデシュのためにしてくださっている支援に対して、BESS 会員の皆様にこの場を借りて感謝致します。近い将来 BESS の支援の、努力が実って明るい社会になることを期待しています。

「感謝をこめて」

BSDP スクール校長 ナジバル ラフマン ビンドウ

BESSはいつも私たちBSDPをサポートしてくださって大変有難うございます。

1993年にBSDPスクールができてから、USTというNGOが先生方の給料だけをわずかずつ払っていましたが、2000年にUSTは引き上げ、その後先生方の給料がありませんでした。

先生方は長い間ボランティアで教えてきて、私が時々少しのお金を渡すだけでした。あなたも知っているように私は金持ちではありません。先生方に給料を払えないのでつらい思いをしてきました。その時の生徒数は200人でした。

BESSがサポートしてくださるようになってから、たくさんの変化が出てきました。例えば学校へ来る子供の数が増え、今では400人ほどになりました。先生も一生懸命教えるようになりました。校舎が建て替えられました。

BESSは昨年ノクシカタと縫製訓練のサポートをしてくださいました。そして訓練生はたくさんの技術を習得し、立派な民芸品をたくさん作ることができました。

B A A Sも縫製の訓練をしてくださり、たくさんの女性たちが仕事を得ることができました。

私たちは日々成長していて、大変幸せです。日本の皆様に大変感謝しています。これからもBSDPをサポートして下さいますようによろしくお願い致します。



BESSからの支援金を受け取る

BSDPスクールの先生のスピーチ（1）

ナズマ ベグム

私はナバキシヨロイハイスクールを卒業して、SSCの国家試験を受け合格しました。1994年からBSDPスクールで働いています。

先生という仕事はとても偉大な仕事だと思っています。地域の人たちは私を慕ってくれますので先生という仕事を続けることができます。私はたくさんのお子どもたちを教育し、その子どもたちもまた教えています。

給料をたくさんもらえる仕事は他に多くありました。この先生という仕事は給料はあまりもらえませんでした。しかし私はこの仕事が好きですので、ずっと続けてきました。人々は私を尊敬してくれています。

私は生徒たちが卒業して、自分の力で生活し、正直に生きて行ってくれることを期待しています。私はこれからもほこりを持ってこの仕事を続けていきたいと思っています。

Q：学校の問題点は何ですか？

- ・ 1番の問題点は学校へ来ない子どもがまだたくさんいることです。

学校へ来ない子どもは学校へ来る子供に、なぜ学校へ行かなければいけないの？ と言



って、遊びや他の方向へ誘惑してしまいます。

- ・ 2番目の問題点は、子供がちょっと大きくなると、親はもう学校に行かなくていいと言って子供を仕事に連れて行ってしまいますことです。

学校へ来る子どもの親は私を尊敬してくれますが、子どもを学校へ行かせない親は、問題が多いです。

BSDPスクールの先生のスピーチ (2)

マフィア アクタル

私はハイスクールを卒業して2006年にSSCの試験を受け合格しました。卒業後先生になり、BSDPスクールで働きました。この仕事はお金の問題ではなく、とてもいい仕事だと思っています。

生徒が勉強して卒業後自立していくことは国にとってもこの地域にとっても大切なことです。私はこの仕事ができる幸せです。校長は常に私たちを助けてくれるし、BESSは私たちをサポートしてくださるから大変感謝しています。

私は今18歳で2年前に結婚して1歳になる息子がいます。昼間は義母がわたしの子どもの面倒を見ています。家が学校から近いので、時々子どもの面倒を見に家に帰ります。



バングラデシュでは15~16歳で結婚する女性が大変多く、子どもを産み、家事をするのが殆どである。

子どもの日記と絵

「私の一日」

5年生 サビナアクタル

私は朝早く6:00に起きてまず髪を結び、歯を磨き口をゆすぎ顔を洗います。それからモスクに行きます。家に戻ってきて朝食を7時頃食べます。ロティ(小麦粉を練って焼いたもの)を食べました。父は仕事に行きます。母は家の仕事をします。私はお母さんの手伝いをします。その後妹と一緒に学校に行きます。



学校ではまず朝礼があります。朝礼ではしゃべってはいけません。国家を歌い、国旗をあげます。いつも友達と仲良く遊びます。

家に帰ってカバンを置き川に行きます。川で沐浴をします。その後昼ご飯を食べます。10分ぐらい休んで母の手伝いをします。そのあと少し寝ます。

午後は(16:00頃)フィールドに行って友達と仲良く遊びます。家に帰って、ビスケットを少し食べ、その後勉強をします。

夕食は、父や母、兄弟と一緒に8:30頃食べます。ごはん野菜を食べました。

その後9:30頃寝ました。

日本で集めた新品や中古の色鉛筆をたくさんプレゼントし、その色鉛筆でいろんな絵がかけられるようになりました。



バングラデシュ紀行

土川 照 恵

バングラデシュの恵まれない子供たちに教育をという目標を掲げ、活動されておられるBESSの情熱に惹かれスタディーツアーに参加しました。

皆様のご好意の文具・子供たちの喜びそうな日本のお菓子をトランクにいっぱい詰め、さあどんな旅になるか。

2月12日～17日までの6日間。中部空港から首都のダッカまで10時間。途中、香港で乗換え。時間差3時間。BSDPスクールの校長のビンドウさんが迎えてくださった。

2日目、 乾期で土埃の大渋滞の中スクールへ。車は出発から到着までクラクションを鳴らし詰め。こすりあってトラブルも日常茶飯事のような。BSDPスクールはスラム街にあった。日本人は珍しくすぐ人だかり。扉の番人らしき人が棒で追い払う。この校舎はBESSの活動で建てられ、とても感慨深い。先生達の給料も活動費で賄っていると聞き驚いた。幼児から中等までの子供がいた。授業風景を見せてもらう。すしづめ。黒板は小さくぼろぼろだった。しかし子供の表情は学校が出来、勉強できる喜びが漲っていた。

3日目、 再び同じ学校へ。出来立ての味付けパンとゆで卵一個ずつを全校生徒にプレゼントする。不思議そうに嬉しそうに貰う瞳に胸が熱くなる。

この学校でBESSの指導で始めた刺繍の小物が商品となり売れるまでに技術が向上していたことが私たちを感動させた。

午後から学校にこれない生徒の家庭訪問。病弱な母親が落葉を集め路地で何か煮ていた。家に入ると10畳ほどの土間に大き目のベッドが一つと家財用具がごちゃっと。少女はお金がないので学校に行けないという。私たちにベッドに腰をおろして下さいと言う。そしてお茶も出せないことを詫びるのだ。



こんなにふかふかのおいしいパンやゆで卵はめったに食べることができない。

4日目、5日目、首都ダッカを満喫。リキシャ・圧縮天然ガスで走り座席が牢獄に閉じ込められているようなCNG・渡し舟・馬車等異文化に接し貴重な体験をさせていただく。ホームステイも出来バングラデシュの生活もかい間見ることが出来感謝。



CNG



フセイン営子様にダッカ市内を案内していただいた。モスクの中で。

子供達の将来を見据えたとき、教育が絶対に必要である。それには大人たちが今、何をしなければならぬか。途上国での実行と成果を確認し感動した。

今回、小学校の**最高学年**である**5年生36名**に**生活のアンケート**を取ってみました。
子どもの1日の生活のようすが分かります。(2012 .2. 8)

5年生 男14人・女22人 合計36人 年齢10~12歳

- 1、毎朝何時に起きますか? 5:00 1人、**6:00 23人** 6:30 1人 7:00 5人 9:00 1人
2、学校には何時に行きますか? 全員 **9:30**

**低学年(幼児・1・2年生)は7:30に学校に行く。学校は低学年が8:00~10:00。
高学年(3・4・5年生)は10:00~13:30までで2部制になっている。**

- 3、朝起きてから学校に行くまで何をしますか?
ほとんどが **洗顔、歯磨き、朝食、** あと**母の手伝い 7人、学校の用意 3人、髪を結う 1人
お祈り 1人、本読み 1人、沐浴・洗濯 2人**

- 4、学校では何の勉強が好きですか?

ベンガル語 15人(母国語だから) 数学 13人 英語 8人

- 5、嫌いな教科はありますか? 英語 18人 数学 14人 科学 7人
(むずかしい、分からないから)

- 6、家に帰ってから寝るまでの生活を書いてください。

- ・ 学校から家に帰る時刻(13:40)、寝る時刻 ほとんどが(22:00 か23:00)
- ・ 家に帰ってから寝るまでに何をするか?

勉強、読書、母の手伝い、日記を書く、宿題 等

- 7、毎日の生活の中で楽しいことや嬉しいこと

スポーツ 21人 勉強 17人 遊び 11人 読書 8人 カード等で遊ぶ 3人
お祈り 2人 お出かけ 1人、手伝い 1人、作文 1人、絵を描く 1人

- 8、嫌なことや困っていること

(ほとんど全員が) 家族が **けんか** や **口論** すること

4坪位の狭い家に、平均5~6人の家族と一緒に住んでいるとけんか・口論が絶えまならしい。

- 9、今の学校を卒業したらどうしますか? (全員) **ハイスクール** に行きたい。

- 10、将来何になりたいですか?

エンジニア6人 兵士2人 軍隊の事務2人 法律家2人 勉強する2人 警察1人
医者13人(うち女子が10人) 先生7人(すべて女子)

- 11、家族構成

3人家族 2、 **4人家族 7** **5人家族 12**、 **6人家族 9**、7人家族 3

子どもの数は4人前後が多いが、大きくなった兄、姉は工場へ働きに行って一緒にすんでいない場合も多い。どの家も4坪ぐらいの広さで寝室兼居間は1部屋で、1つのベッドで3~4人寝たり、床に寝ている。

- 12、父母の職業

父:CNGドライバー6人、リキシャ引き5人、洋服工場5人、ビジネス6人、仕立屋2人、
魚釣り3人、大工3人、庭師、ペインター、運転手がそれぞれ1人ずつ、未記入3人
洋服工場働いている兄が 6人 いる

母:家事22人、洋服工場3人、木を切る・ビジネス・製粉所・ネットを作る・
教える がそれぞれ1人ずつ、未記入6人

**今回のアンケートは学校へ来ている5年生を対象に取ったものである。
学校へ来ていない子どもの調査も今後必要であると思う。**

活動報告 (2011年9月～2012年3月)

- 2011年**
- 9月 14日 (木) BESS 3年度第1回運営委員会、BESS 3年度の活動について
 - 20日 (火) 第2回運営委員会 BESS だより編集
 - 10月 3日 (月) 第3回運営委員会 BESS だより (4号) 発行
 - 10日 (月) AHI オープンハウスに出店
 - 23日 (日) フリーマーケット (KHK にて)
 - 11月 5日 (土) 犬山子ども大学でワークショップ
 - 10日 (木) 第4回運営委員会
 - 20日 (日) 江南市健康フェスティバルでチャイのサービス、募金活動
 - 27日 (日) フェアトレード講習会に参加 (名古屋伏見)
 - 12月 8日 (木) 第5回運営委員会
 - 18日 (日) 一宮フェアトレード大会に参加
- 2012年**
- 1月 19日 (木) バングラデシュ ミニセミナー開催
 - 31日 (火) 第6回運営委員会 BSDP 2012年度の支援金について
 - 2月 7日 (火) スタディーツアーの打ち合わせ
 - 11日 (土) 江南絆づくりカフェ に出展
 - 12日 (日) ～17日 (金) バングラデシュスタディーツアー (土川・森崎)
学校・スラム街を視察、交流、中古文具、支援金を寄付、パン・ゆで卵の支給
民芸品作成の指導、製品の受け取り、縫製訓練生修了証授与式に参加
バングラデシュ スラム街の生活のビデオ撮り、先生・子どもたちの声の収録
ダッカ市内の観光、生活体験 (ホームステイ)
 - 18日 (日) かけはし基金受領式
 - 23日 (木) 第7回運営委員会 ツアーの報告・整理
 - 3月 6日 (火) 第8回運営委員会 BESS だより編集
 - 22日 (木) 第9回運営委員会 BESS だより 校正
 - 30日 (金) BESS だより5号 印刷・発行

入会していただいた方・更新して頂いた方 (2011年10月～2012年3月) (敬称略)

11名

ご寄付、ご支援頂いた方 (2011年10月～2012年3月) (敬称略)

10月 16名
11月 4名
12月 3名
1月 9名
2月 4名
3月 2名



BSDPスクールではこのような粗末な黒板や机・椅子を使っています。



新校舎では机・椅子が新しくなりました。



BESS が支援している女性たちの刺繍の訓練



出来上がったノクシカタの民芸品。技術も大変向上しました。裏にも同じ刺繍がしてあります。

今後の予定

- 4月29日(日) 曼陀羅寺藤祭り
チャイのサービス
- 5月27日(日) 「江南子どもフェスタ」でチャイのサービス
(スウィートピア江南)
- 8月25日(土) BESS 総会
1:30 セミナー

東北へ届けました

- ・ H23.10.10 BSDPスクールの子どもたちからの支援金を釜石市へ
- ・ H23.11.20 健康フェスティバルでの募金を福島県の善郷小学校へ

会員の種類 (年会費)
 正会員 6000円
 准会員 3000円
 1000円
 (何口でも)
 ボランティア会員

○郵便局のキャッシュカードをお持ちの方は**カードで振込料無料**
 ○カードがない場合は窓口で振込料 140円 (通帳・印鑑必要)
 ○現金で振り込むと振込料は 525円
 郵便局 口座番号 [記号]12130 [番号]2001001
 加入者名 BESS の会

問合せ先 〒483-8044 愛知県江南市宮後町中町 79 森崎 芳子
 TEL・FAX 0587-54-4303 メール m-hanzu@msd.biglobe.ne.jp
 ホームページ <http://www7b.biglobe.ne.jp.bess/>